

JAと地域の概況

● JAみやぎ仙南の概況

当JAは、平成10年4月1日に仙南地域の7JAが合併し、みやぎ仙南農業協同組合として管理・金融生活・生産流通の3事業本部と41支店で発足しました。（現在は、管理・金融共済・営農経済の3事業本部と、1金融本店、10支店。）

地域は宮城県南部に位置し、西は山形県、南は福島県に接した2市7町（角田市・白石市・七ヶ宿町・柴田町・大河原町・村田町・川崎町・蔵王町・丸森町）を事業区域としております。

● 地域の概況

西部の奥羽山脈から連なる丘陵地帯が東部に向かって次第に傾斜しており、東部及び南部は阿武隈山地に囲まれ、それぞれの丘陵地帯を縫って流れる阿武隈川や白石川流域には盆地が形成されています。年間の平均気温は10～12℃、降水量は1,200～1,500mm、積雪量は西部丘陵地帯が多くなっていますが、東部は少なく温暖になっています。総人口は約17万2千人（H30年6月現在）で、宮城県総人口231万人の約7.4%を占めています。

● 農業の概況

経営耕地面積は約1万3,600ha、耕地率は平均18%で、地域的（市、町ごと）には1%～24%と格差が見られますが、稲作を中心に園芸・畜産を加えた複合経営農業が展開されています。

当JAは、生産者と消費者の提携活動（産消提携）を基本に、仙南地区の農業の展望と農業の未来を切り拓くべく、真に消費者と生産者が一体となった「食と農を守る」活動を展開しております。

